

杉戸町今昔拾遺録

温古知新
杉戸の歴史をばれ話

第23回

古墳、記憶と眠る山 パーソン・ファイル・システム

古墳時代を象徴する最大の構造物、それが古墳です。では、その巨大な姿の「本質」とは一体何なのでしょう？古墳とは、単なる権力者の巨大な墓（モニュメント）ではありません。それは当時の人々にとって、政治や祭祀を体現したものである以上に、「人々の心の仕組み」に働きかけ、集団を一つにまとめる高度な宗教的装置と考えることもできます。

学際的な視点から見ると、古墳の造営という大規模な共同作業や、そこで執り行われる「儀礼」は、参加者の記憶と感情を強く揺さぶるものといえます。皆で汗を流し、巨大な墳丘を築き上げるプロセスそのものが、バラバラだった人々の意識を「一つの共同体」へと強く結びつける接着剤のような役割を果たしていたのです。

さらに興味深いのは、時間の経過とともに古墳の持つ意味が変化していく点です。埋葬された直後は、特定の「あの豪族の長」という個人の記憶が鮮明です。しかし、数世代が過ぎ、具体的な個人の思い出が風化していくにつれ、古墳は特定の家系を超えた地域共通の「祖先（祖霊）」を祀る場所へと昇華されます。個人の死を、地域を守護する聖なる存在へと書き添えていくこのプロセスこそが、古墳の本質的な機能だったのではないのでしょうか。古墳は、形あるモニュメントとして残り続けることで、人々の記憶を「個」から「公」へと導き、世代を超えた社会の安定を支える礎となっていたのでしょう。



目沼浅間塚古墳 3D 計測図

（社会教育課 町史・文化財担当編）

わが家のアイドル

掲載された方には**特製カード**をプレゼント！
皆さんのステキな1枚をお待ちしています！

P23にも「わが家のアイドル」があります！

<p>はな おか 花岡ビバ ちゃん 令和5年10月18日生</p> <p>我が家の アイドル！</p>	<p>ひろ せ 廣瀬ロイ ちゃん 令和4年11月5日生</p> <p>犬派だった はずなのに 今ではすっかり 猫派です</p>	<p>まつ おか ほん 松岡Boron ちゃん 平成27年12月24日生</p> <p>保護犬だけど 今は幸せだ ワジ！</p>
<p>やま ぐち 山口タツク ちゃん 令和4年4月12日生</p> <p>権現堂の 彼岸花見に 行ったよ！ 暑がったワン</p>	<p>よし こ たら 吉井小太郎 ちゃん 平成25年8月4日生</p> <p>お散歩1時間 必須な わがまま犬！</p>	<p>よし た 吉田マロン ちゃん 平成17年12月25日生</p> <p>めざせ！ 二才歳！！ マロンさん</p>

※大好評につき現在多くのご応募をいただいております。
掲載は受付順となりますので、応募から掲載までお時間がかかる場合があります。ご了承ください。



読みやすい書体であるユニバーサルデザイン（UDフォント）を使用しています。



杉戸町
ホームページ



メール配信
「すぎめー」



広報スマホ版
マチイロ



杉戸町
公式LINE



杉戸町
公式X



杉戸町
公式Instagram